

## 船舶事故調査報告書

平成27年10月22日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 庄司邦昭（部会長）  
 委員 小須田 敏  
 委員 根本美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成27年2月5日 15時10分ごろ～6日 08時45分ごろの間）
発生場所	不明（島根県松江市島根町の多古鼻沖～多古鼻灯台から真方位119° 2.7海里（M）付近の間）
事故調査の経過	平成27年3月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>ちゅうえい</sup> 忠栄丸、4.22トン SN3-12416（漁船登録番号）、個人所有 9.78m（Lr）×2.07m×0.90m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数70、昭和54年5月6日
乗組員等に関する情報	船長 男性 70歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年7月2日 免許証交付日 平成23年3月2日 （平成28年4月6日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	全損
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、はまちの一本釣り漁のため、隠岐諸島付近の漁場に向かう予定で、平成27年2月5日05時00分ごろ島根町の係留地を出航した。 船長の家族は、15時10分ごろ船長と通話し、15時20分ごろ船長に電話したところ、応答がなかったので、所属漁業協同組合の担当者に状況を説明し、同担当者が海上保安庁に通報を行い、捜索が行われた。 本船は、大破し転覆した状態で、多古鼻灯台から真方位119° 2.7M付近の岩場に打ち上げられているところを、5日17時08分ごろ捜索にあっていた海上保安庁のヘリコプターによって発見され、6日08時45分ごろ、本船であることと無人であることが確認された。

	<p>船長は、8日09時10分ごろ、本船から南東方約3,000m付近の海上で浮遊しているところを捜索員により発見され、搬送された病院で溺水による死亡と検案された。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図 参照)</p>
気象・海象	<p>気象：天気 雨、風向 北北西、風力 6</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の中央期、水温 約12℃</p> <p>島根県松江地区には、5日04時12分波浪注意報、10時13分風雪注意報が発表され、それぞれ6日04時33分、5日21時49分に解除された。</p>
その他の事項	<p>船長は、ふだん、05時ごろ出航し、16時～17時ごろ帰港していた。</p> <p>本事故当日は、本船だけが出漁していた。</p> <p>船長は、本事故当日、自宅を出るとき、家族に午後から天候が荒れるので早目に帰ると言っていた。</p> <p>船長は、ふだん、救命胴衣を着用して出漁していたが、発見時、救命胴衣を着用していなかった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、5日05時ごろ係留地を出航し、15時10分ごろ家族との通話後、6日08時45分ごろ無人であることが確認されたことから、この間において、船長が落水し、溺水したものと考えられる。</p> <p>船長が落水及び溺水に至った状況は、明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、漁場を出発後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒天が予想される場合には、出漁を控えること。</li> </ul>

付図1 事故発生場所概略図

